

質問・意見回答票

資料 1

1. 全体についての質問・意見

審議会委員から、審議会中及び審議会後に書面で提出された質問・意見への回答

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	後期目標値について	後期目標値について、目標値設定根拠が分かる参考資料を出していただきたいです。また基準年度が統一されておらず、分かりづらいかと思います。
	担当課： 総合政策課	質問・意見への回答
		過去5年間の実績と、後期目標値設定の根拠についてまとめた資料を作成いたしましたので、ご覧ください。(参照：参考資料1) また、前期基本計画から継続された目標値と、後期基本計画から新規で追加もしくは変更された目標値で、基準値の年度が異なっていましたが、全ての目標値について、直近の年度を現状値として記載するようにいたします。

2. 1章についての質問・意見

審議会委員から、審議会中及び審議会後に書面で提出された質問・意見への回答

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	施策：1-1 現状と課題部分	第1章の1P 現状と課題（3つ目の○）に、「本市の商工業を振興していくためには、大学の研究内容や地元企業の技術等を活かした内発型産業の…」という記述がありますが、国内で生き残るためには、最新技術やイノベーションが必ずしも必要なのではなく、スピードや品質・多様性が重要であり、それらを工夫して組み合わせ優位性を生み出していくことが大切だと思います。また、遠隔地の在宅ワークも、米沢では有効だと思います。最新技術というのは、なかなかすぐに生み出せるものではありません。そのことを踏まえて、もっとこの部分を分かりやすいような言葉にしていきたいです。
	商工業振興について	
	担当課： 商工課	質問・意見への回答 ご意見を踏まえ、第1章現状と課題（3つ目の○）に下線部分を追加します。「今後、地域の優位性を生み出しつつ、本市の商工業を振興していくためには、 <u>生産性向上に向けた支援や</u> 、大学の研究内容や地元企業の…」

番号	該当箇所	質問・意見内容
2	施策：1-1 現状と課題部分	<p>第1章の1P 4つ目の○ 【本市への新たな…対応が求められております。】文末以下に</p> <p>「また一方で、近年のIT技術の浸透によりテレワークなどの新しい働き方や、新たなIT産業が躍進してきていることからこの産業分野にも注目する必要があります。」と追記したほうがよろしいかと考えます。</p> <p>理由として【第3回配布資料3(差替)後期5箇年間におけるまちづくりの視点について(キーワード)】中、【地域経済の変化情報化社会の進展】に現状の産業構造として、今後の本市の第3の柱となるべくIT企業の誘致や企業支援など、IT産業にも注目していることを印象づける必要があると思います。</p>
	IT産業	
2	担当課： 商工課	<p>質問・意見への回答</p> <p>情報化社会のさらなる進展に対し、働き方の多様化に応じた雇用機会を確保するとともに、新産業創出に向けた取組みを推進します。</p> <p>ご意見を踏まえ、第1章の1P 4つ目の○に、下線部を追加させていただきます。</p> <p>「本市への新たな企業の進出は、<u>新たな産業や雇用機会の創出</u>、市内企業との連携、適度な企業間の競争などを<u>生み</u>、地域経済の活性化に有効な手段となっており、本市の強みを<u>活かす</u>とともに、<u>近年の産業動向を捉え</u>、IT産業等の企業立地の促進及び創業（起業）への支援が必要です。」</p> <p>また、施策1-4「安定した雇用と働きやすい環境づくりの推進」の1-4-1「多様な職業の創出と就業の場の拡充」において、テレワークを含めた「多様な業種・職種の雇用の創出」を推進します。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
3	施策：1-1-5 企業立地の促進 と新産業の創出	<p>4つ目の取り組みとして、「IT産業の一角として本市にIT企業の誘致や進出勧誘を積極的に進め、起業支援と共に新たな雇用機会を産み出し定住化を促進します。」を追加してはどうでしょうか。</p> <p>理由として、製造業とは異なりIT産業は斬新な発想によってニッチ分野でも、メルカリ社などのように大化けすることがあります。さらには投資が少なく起業が容易であることも大きな特徴です。</p> <p>これからはテレワーク(在宅勤務)などの新たな潮流が予測さ</p>
	IT産業	

		<p>れ、仕事と余暇の過ごし方に独自のこだわりをもったライフスタイルが注目され、都心からの至便性をふまえて本市にある基本的資源を活用することにより、冬はスキー夏は畑で野菜作りといった魅力ある立地特性をアピールして、移住定住化を図っていくことが大切かと考えます。</p> <p>また、オフィスアルカディアを中心とした IT 産業のスマートシティとして IT 企業を集積化し、マイクロシリコンバレー的な都市づくりの発想も面白いかもしれません。</p>
	<p>担当課： 商工課</p>	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>IT産業については、今後の発展が望まれる産業の一つであると認識しておりますが、現時点では、IT産業だけにとどまらず、様々な産業の誘致を模索していることから、施策 1-1-5 「企業立地の促進と新産業の創出」では、IT産業やテレワークなども含めた「新たな企業の立地を促進します。」と記載させていただいております。</p> <p>また、雇用に関しては番号 2 への回答と同様、1-4-1 「多様な職業の創出と就業の場の拡充」において、IT産業を含めた「多様な業種・職種の雇用の創出」を推進することとしておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
4	<p>施策：1-1 ブランド戦略指標</p>	<p>施策 1-1 の目指す目標値（後期目標値）に、TEAM NEXT YONEZAWA 登録件数等を入れないのでしょうか。</p>
	<p>担当課： 米沢ブランド戦略課</p>	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>ご意見を踏まえ、施策 1-1 に以下の目標値を追加します。</p> <p>基準値（R1） 159件 後期目標値（R7） 340件 （年間約30件の登録増加を見込んで目標値設定）</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
	<p>施策：1-1 現状と課題・ 施策の目指す姿 など ブランド戦略</p>	<p>これからの米沢を担う人材育成と関連づけて考えると、「米沢ブランド」に関わる人材こそが、「米沢ブランド」であることが大切なかと思えます。</p> <p>八幡原工業団地が造成された頃、米沢に工場を立ち上げた担当者が思う米沢の労働者の人柄について、「とにかく勤勉で、信頼できる仕事ぶりである。」ことを挙げています。上杉鷹山の教えを引き継ぎ、米沢の風土が育て上げてきた、他に誇れる気質であると考えています。</p>

5		<p>しかしながら、近年若者の就職状況をみると就職内定率は高い水準だが、就職しても転職する者も少なくありません。いったん米沢を離れるとなかなか戻って来ない現状もあります。大学卒業後は、中学高校で活躍し、これからの米沢市をリードして欲しいと思う人材ほど、他の土地で活躍しています。</p> <p>米沢に愛着が無いわけではないですが、アンケートでも示されているように、生活環境に課題があることは否めません。</p> <p>これからの米沢市の未来を支える若手の人材の確保は、人口が年々減少していく現状を踏まえても、大きな課題となります。</p> <p>そこで、郷土愛をさらに高め、米沢の良さを実感し、「挑戦と創造」を自ら意欲的に取り組んでいく人材育成を教育の場と連携していくことが望まれます。</p> <p>小学校3年生社会科では、自分達の市を中心とした地域を学習対象として取り上げたり、地域のひと、もの、ことに関わる総合的な学習を通じて、町づくりや伝統文化などについても学ぶ機会があります。このような学習の場を充実させ、「TEAM NEXT YONEZAWA」を意識し米沢ブランドを支えようとする心を児童期から育てていきたいです。</p> <p><手立てとして></p> <p>米沢市内の小学校の先生には、地元出身でない方も少なくないのが現状の中、地域学習を進めるうえで、米沢市の取り組みが分かりやすくまとまっている補助教材があれば役に立つかと思えます。</p> <p>一市民として、子ども達も米沢品質に関わる機会があればいいと思えます。</p> <p>先々を見通して、世代が変わっても持続可能な取り組みになるように年代を超えた交流も必要でないでしょうか。</p>
	<p>担当課： 米沢ブランド戦略課</p>	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>①自ら意欲的に取り組んでいく人材育成を教育の場と連携していくこと ⇒平成30年度より山形大学で実施している起業家育成支援プログラム「EDGE-NEXT」と連携していることで起業して地域に残れる人材（アントレプレナー）の育成や、起業家理念を持った人材（イントレプレナー）の育成事業に協力しております。なお、今年度九里学園高校で研究実施予定の「世界に誇れる持続可能な置賜を創造する人材の育成」にも参画していく予定です。</p> <p>②「TEAM NEXT YONEZAWA」を意識した米沢ブランドを支えよ</p>

		<p>うとする心の児童期からの教育について</p> <p>⇒平成30年度に、小中学校の校長会と教頭会には研修として、米沢ブランドの取組を直接説明させていただいております。米沢ブランドは様々な領域での挑戦と創造を喚起することで、米沢全体の付加価値を高め続けていくことにより、市民が住み続けたいと思い交流人口や移住等の拡大に繋がるような息が長く強い運動にしていくことを目指しています。現在は、大学生以上や企業の皆様に主軸を合わせていますが、その根底には小中学生の頃からの意識向上と教育が必要不可欠ですので、今後、教育委員会とも検討してまいります。</p>
	<p>担当課： 学校教育課</p>	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>米沢の「良さ」を知るだけでなく、「すばらしさ」を考える教育が、これからの米沢を支える子ども達には重要であると考えます。歴史と文化のまちである米沢には、ここにしかない、ここでしかできない「ひと、もの、こと」が多くあります。それらの「良さ」を知るにとどまる教育ではなく、「すばらしさ」に心から感動したり、感銘を受けたりしながら、郷土を愛する心を今後も育んでいく教育が必要です。米沢の子どもたちに教育する立場である教員は米沢の「良さ」を知るだけでなく、「すばらしさ」を子どもたちとともに考え、伝えていくことが大事だと考えております。子どもたちも教員も「米沢品質」を目指して取り組んでいきます。なお具体的には、施策2-2-1で取り組みます。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
6	<p>施策：1-1-5</p>	<p>企業で働く人材にとって、福利厚生施設充実は大切だと思います。八幡原工業団地の体育館やテニスコート、野球場などを見ていると、経年劣化が激しく、テニスコートは特に大変な状況にあります。使い勝手が良く、運動後の着替えやシャワーなど、ロッカールーム等は今時備えてあることが当たり前ですが、不便な状況が続いています。</p> <p>オフィスアルカディア近くには、道の駅米沢も完成し、大きな収益を得ています。今後の誘致を考えた時に、道の駅を利用する方やオフィスを利用する方にも喜ばれる魅力ある福利厚生施設が近くにあることは、一つの魅力になるかと思えます。</p>
	<p>スポーツ施設</p>	
	<p>担当課：</p>	<p>質問・意見への回答</p>

	スポーツ課	<p>八幡原緑地野球場及びテニスコートに関しては、供用開始から 40 年以上が経過し老朽化等により様々な不具合が発生しており利用者の皆様にはご不便をお掛けしているのが現状です。</p> <p>スポーツ施設をより快適に、多くの市民に利用していただけるよう、維持管理に努めていきたいと考えています。なお具体的には、施策 2-3-4 で取り組みます。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
7	施策：1-2	<p>総合計画に記載されている観光は、レジャー目的の観光客に限定したものとなっているのではないかと思います。米沢には、ビジネス目的、あるいは、大学の会議等、いわゆる MICE（マイス）目的で訪れる人も多くいます。こういったビジネス目的の観光客についての記述、あるいは、交流人口・関係人口の拡大に向けた取組についての記述も必要ではないでしょうか。</p>
	ビジネス観光・交流関係人口	
	担当課： ①観光課 ビジネス目的の観光について	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>MICE については重要であると認識しており、令和 2 年度までを計画期間と定めている第 3 期観光振興計画の重点目標の一つに「異業種連携による観光誘客やコンベンション等の誘致」を掲げ、米沢観光コンベンション協会を中心にコンベンション誘致を展開しております。</p> <p>御意見のとおり総合計画内に記載し、継続して実施して参ります。</p> <p>1 章 1-2-3 誘客宣伝活動の推進に「誘客策の一つとして、国内外の学会・大会・会議等の誘客を促進するとともに本市の歴史や文化等の観光資源を活用した参加者向けツアーの造成に取り組みます。」と追記いたします。</p>
	②総合政策課 (関係人口・交流人口について)	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>関係人口・交流人口については、2 章の施策 2-5 多様な文化とつながり・交流するまちづくりの推進での取組として記載させていただきます。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
8	施策：1-2	<p>この冬、雪不足により天元台高原のみ営業が成立していましたが、天元台高原・白布温泉を核とした新たな事業が期待されます。オリンピックが延期になり、多くのホストタウンでは、事前合宿が中止になったり、施設の維持管理に頭を悩ませたり、影響は少なくありません。米沢市も香港との交流がさらに期待される中、この先不透明です。</p> <p>さて、天元台高原では、高い標高を生かし、夏場は涼しい環</p>
	スポーツツーリズム	

		<p>境でのテニスや、陸上の高地トレーニングに活用されたり、澄んだ空気の夜、天体観測イベントが行われたり、トレッキング、学習合宿と様々な取り組みがなされてきました。</p> <p>高地トレーニング施設は、蔵王坊平に日本陸連関連施設があり、クロスカンントリー駅伝大会も開催されています。天元台はロープウェーで移動しなくてはならず少し不便さはありますが、標高は坊平よりもさらに高く環境としてはいいのですが、トラックがありません。陸上練習ができる全天候の簡易施設を整えば、相当数の利用が期待できます。合宿誘致などの冬の活用にも結びつく特色を生かした整備を進めていきたいです。</p> <p>過去の城下町マラソンでは、迂回路の周知がなされずに交通渋滞の問題から市民のみなさんなどからクレームがたくさんでしたが、県内外からの参加者からの評判は良く、市民マラソンのランキングでも上位にありました。</p> <p>感染症の影響で多くのイベントが中止になっていますが、スポーツ大会に参加し、全国から集まってきた仲間と交流したり競い合いあったりスポーツツーリズムを楽しむ人口は少なくありません。マラソンに参加する人口も減少傾向に転じてきている昨今米沢ならではのスポーツイベントの再考は必要かと思います。また運営にあたっては、多くの観光ボランティアや運営ボランティアの協力を得られるように、人材の育成は必要だと思います。</p> <p>数年前に東北スポーツ推進委員研究大会の実技研修で行った歴史ウォークは、いくつかのコースを選択しての参加でしたが、モデルコースの準備やボランティアガイドをつけたことで大変好評でした。訪れて欲しい場所と行ってみたい場所のマッチングがうまくなされたようです。この経験から、食べ物や歴史、文化等、分野ごとにコースを紹介しても良いのではなどの意見がありました。このような散策コースマップはいくつか紹介されていますが、YouTubeなどで配信するなどすぐに活用できるような発信の工夫が必要ではないかと思います。</p>
	<p>担当課： スポーツ課</p>	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>天元台高原の高地トレーニング施設としての有用性は市としても認識しておりますが、国立公園内であるため、様々な規制の確認のほか、整備する場合の費用や土地の権利関係等の検討が必要な事項がありますので、今後関係機関とともに研究していきます。</p>

		<p>また、スポーツイベントを含む様々な分野のイベントで本市の特色を感じられるような内容を加え、またそれらを発信していくことは重要だと感じております。内容や発信内容・手法等について、関係各課及び団体等と連携してよりよい手法を検討していきたいと考えています。</p> <p>スポーツツーリズム、合宿誘致に関連する施策としては、第2章の施策2-5-1が該当いたします。</p> <p>ご意見を踏まえ、2つ目の項目に、各種分野のイベント等において、本市の魅力を感じられるような内容について検討していく旨の表現に変更いたします。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
9	施策：1-2	<p>米沢はたくさんの温泉旅館がありますが、たとえば「米沢道の駅温泉」のような施設があるといいと、この頃感じています。仕事帰りの一時を温泉でゆっくり過ごす方はいないでしょうか。道の駅で買物の後にほっと一息などと考える方はいないでしょうか。広く市民にも活用できる憩いの場になればいいかとも思います。</p>
	道の駅温泉	
	担当課： 観光課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>①道の駅米沢の施設整備においては、本市と山形県が区分けして整備していることや、複数の国の補助事業を活用していること、さらには施設の一部が防災支援施設としての役割を担っているなど、新たな施設を整備するには、様々な使用上の制限の問題があります。</p> <p>②「道の駅米沢」は地方創生の拠点として、まちなかの賑わいの創出と地域の活性化を図ることを目的としたゲートウェイ型の道の駅であります。</p> <p>このため、道の駅米沢が目的地になるのではなく、道の駅米沢から市内や置賜地域へ観光客を誘導する役割を担っており、現在のところ周辺の開発等により、観光施設を強化するような新たな計画は持っておりませんが、施設周辺は、交通利便性も優れており、様々な開発、活用が期待できる場所ですので、これからの大きな課題と考えております。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
10	施策：1-3	<p>健康食が注目されているなか、うこぎの知名度は少しずつ上がってきているようにも思えます。健康食品としてのPRを米</p>

<p>項目： 農業分野</p>	<p>沢栄養大学と提携して行ったり、レシピなどを添えて販売したりするなどの手立てを施し販路拡大につなげたいです。</p> <p>雪菜は、今年は暖冬のため生産が大変な状況でしたが、これから益々うこぎ同様ニーズが上がってくることが期待される食材なので、古志田の雪菜、遠山地区の地酒との組み合わせや地元の漬け物詰め合わせセットなどバリエーションを広めながら広報していけるといいかと思います。</p> <p>「遠山かぶ」や「梓山大根」など栽培後継者が心配なものもあるので、種の継承をし、栽培を何らかの形で続けていければと考えます。学校の畑を活用し地域の方々にご指導いただき栽培することも方策の一つだと思います。子どもの食育にも関連しており、受け入れる体勢が整えばすぐにでも取り組めるかと思っています。</p> <p>都市と農山村の交流は、市民を少しでも増やして行く観点から、田舎暮らしに魅力を感じている全国の皆さんから募集し、定住を考えている方には、住居の提供や土地の利用等で便宜が図れるような企画があってもいいと思います。新幹線を利用することで、首都圏から2時間程度で移動できる距離感は、意外といいと考える方がいると思います。</p> <p>ただし、冬の暮らしについて総合的に考えると、地元で育った人材が離れていく現状なので、不安はあります。</p>
<p>担当課： 農林課</p>	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>うこぎにつきましては、米沢うこぎ振興協議会が書籍を発刊し、現在は電子書籍として販売を行い情報発信に努めております。雪菜につきましては、地元商店や道の駅米沢でふすべ漬と地酒のセットを取り扱っており、また、ふるさと納税の返礼品としても取り扱っています。伝統野菜の継承について、ご意見を参考にさせていただき、生産者のご意見も聴きながら取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>都市と農山村の交流について、現状では自然を活かした田んぼアートや、都市圏の学校が学校教育の一環として農村の暮らしを体験する教育旅行での農泊受入を実施して交流拡大を図っております。米沢に興味を持ってもらえるよう今後も関係課、関係団体等と連携し取り組んでまいります。</p> <p>ご意見を踏まえ、1章・施策 1-3・施策での取組 1-3-2 において、下線部分を追加しました。</p> <p>「○うこぎ、雪菜等の地域伝統野菜の伝承と積極的な情報発信</p>

		による販路拡大を進めるとともに、新たな地域特産農産物の生産拡大を支援します。」
--	--	---

3. 3章についての質問・意見

審議会委員から、審議会中及び審議会後に書面で提出された質問・意見への回答

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	施策：3-1 コロナ等への対応	新型コロナウイルスのような感染症に対する迅速な情報提供について、記述が必要ではないでしょうか。
	担当課： 環境生活課・ 危機管理室	質問・意見への回答
		<p>施策 3-1-1 で記載されている感染症予防とは、一般的な感染症予防についての取組となります。新型コロナウイルスのような、世界的な感染症流行への対応については、第5章「安全安心に暮らせるまちづくり」の危機管理対策の取組に含めさせていただきます。</p> <p>ご意見を踏まえ、第5章・施策 5-1「いざというときに備えるまちづくりの推進」において、新たな施策での取組を追加しました。</p> <p>5-1-4「緊急時における適切な情報の発信：○災害や感染症の流行時において、早急かつ適切な情報提供等を行います。」</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
2	施策：3-1 子宮頸がん検診・ワクチン	<p>①子宮頸がん検診の受診率向上に向けて、市でどのような取組をしているのでしょうか。</p> <p>②子宮頸がんワクチンは、副作用への懸念等もありますが、市としては、積極的に接種を推奨しているのでしょうか。</p>
	担当課： 健康課	質問・意見への回答
		<p>①子宮頸がんと診断される人は 20 歳代後半から増加し、40 歳代でピークを迎えます。仕事や家事・育児などが優先され自分のことが後回しになりがちな女性への配慮として、集団健診では休日や託児を併設した検診日を設定し、他のがん検診や生活習慣病予防のための健診も同時に受診できるようにしています。</p> <p>また、市内医療機関（婦人科）に委託しての個別健診も実施し、個別の状況に応じて受診できるよう検診体制の整備に努めています。</p> <p>②子宮頸がんワクチンの副反応について国の専門家会議では</p>

		<p>「ワクチン接種の有効性と比較した上で、定期接種を中止するほどリスクが高いと言えないが副反応症例について十分に情報提供できない状況にあることから、接種希望者の接種機会は確保しつつ、適切な情報提供ができるまでの間は、積極的な接種勧奨を一時的に差し控えるべき」とされました。このため、厚生労働省では、子宮頸がんワクチンについて、予防接種対象者への積極的な接種勧奨を差し控えることとしています。</p> <p>本市においても市ホームページや子育てハンドブック、医療機関へのポスターの掲示により当該予防接種の情報を周知しておりますが、予防接種対象者への個別通知は差し控えているところです。</p> <p><u>なお、がん検診については、施策 3-1-1 において包括的に記載しております。</u></p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
3	施策：3-2	<p>目指す姿に記載されている「若者が安心して子どもを～」の記載で、「若者が」という表現は不適切ではないでしょうか。</p>
	子育て分野	
	担当課： こども課	<p>質問・意見への回答</p> <p>「若者が」⇒「誰もが」安心して子どもを産み育てられ、という表現に変更いたします。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
4	施策：3-2-6	<p>第3章・7 P3-2-6 に記載されている結婚支援ですが、結婚を阻害している要因は、若者の貧困化・不安定化だと思います。米沢市に残ってもらうには、安定した雇用が必要だという意見もありました。3章記載の結婚や出産に結びつく支援を考える際には、1章で記載されている安定した雇用をセットに考えて欲しいです。結婚・出産を考える上で、安定した雇用が不可欠だと思います。ぜひ、そういった施策を1章か3章のどちらかに入れて欲しいです。</p>
	結婚支援と雇用	
	担当課： 総合政策課・ 商工課	<p>質問・意見への回答</p> <p>ご意見を踏まえ、第3章施策3-2・現状と課題5つ目の○に、下線文章を追加します。</p> <p><u>「また結婚・出産を考えるうえで、安定した雇用は不可欠であるため、若者の就労支援等にも取り組む必要があります。」</u></p> <p>また、第3章施策3-2、施策での取組3-2-6において、下線部分を追加し、雇用対策についても結婚や出産取組の一環として取り組むことを明記しました。</p> <p>「○結婚支援イベント等の出逢いの機会づくり事業の実施や、</p>

		特定不妊治療費・一般不妊治療費助成事業、 <u>若者への就労支援等により、結婚や出産に結びつく取組を推進します。</u>
番号	該当箇所	質問・意見内容
5	施策：3-2	<p>健やかな成長を促すために、多様な運動経験は大きく関わってくるので、モスクワの「チェスカ」のような様々な運動器具が常設されている運動施設が米沢にもあるといいと常々思っています。</p> <p>近くでは、福島市の吾妻総合運動公園体育館にキッズルームが備えてありますが、米沢市から利用している方もいます。</p> <p>雪のために外遊びが制限される期間がとても長い米沢市では、特に全身運動を楽しめる常設施設の設置には、期待したいです。財政状況が厳しい中で、遠く先のことですが、市営体育館更新時期には検討して欲しいです。</p>
	子どもの成長に向けた運動施設	
	担当課： こども課 (屋内遊戯施設について)	質問・意見への回答
		<p>天候に左右されず、子どもたちが遊ぶことのできる屋内遊戯施設の整備は、子育て世代の方々に限らず、祖父母世代の方々からも多くの御要望を頂くなど、本市における子育て支援の重要な課題の一つと捉えております。今後は、屋内遊戯施設の整備に向け、子育て世代の方々からのご意見を組み入れながら、基本構想・基本計画等の策定を行っていく予定としております。</p>
	担当課： スポーツ課 (市営体育館等の運動施設について)	質問・意見への回答
		<p>市営体育館は、供用開始から50年近くが経過し、老朽化が進んできています。市営体育館には、各種大会の会場としての機能のほか、災害時における避難所としての機能も求められており、いずれは大規模な改修を行う必要がありますので、利用者の声も伺いながら、必要な機能を検討していきたいと考えています。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
6	施策：3-2-2	<p>「ひとり親家庭への学習支援を継続して行っています。」</p> <p>とありますが、ひとり親家庭の世帯数が多い中、学習支援を利用する世帯にはどのように周知し、実際何世帯が今利用しているのでしょうか。また、訪問型なのか教室型かどのような支援を行っているのか教えていただきたいです。</p>
	ひとり親家庭学習支援	
	担当課：	質問・意見への回答

	こども課	<p>本事業の実施状況につきまして、利用者募集の周知は、事業スタッフである米沢市母子会や市報を通じて案内しています。令和元年度の利用状況は、年間40回開催し、1回当たり15世帯・18名の児童が利用しております。実施形態は、教室型です。</p> <p>本事業は、ひとり親家庭の子ども達の居場所づくりや生活・学力向上を目的とし、特定非営利法人 山形県ひとり親家庭福祉会に委託して実施している事業です。</p> <p>支援内容につきましては、市内在住のひとり親家庭の小・中学生、高校生を対象とし、教員経験のあるOB、大学生や米沢市母子会のスタッフを配置し、学校での学習の補習など、子ども達が教材を各自持ち込んで、個別学習・質問形式で学習しています。</p> <p>また、すこやかセンターにて、毎週土曜日（休講の場合あり。）の17:00～19:30の時間帯に開催し、費用は無料です。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
7	施策：3-3 高齢者福祉サービス	<p>（健康福祉部長配布資料：米沢市高齢者在宅福祉サービス一覧に対する質問）</p> <p>①サービスを受けるにあたり、申請書に緊急対応できる方の記載が必要とありますが、孤立している人、家族が遠方に住んでいる高齢者の場合、民生委員等が対応しているのでしょうか。</p> <p>②また、完全に孤立していて、市役所まで足を運ぶこともないような高齢者に対しては、どのような支援をしているのでしょうか。</p>
	担当課： 高齢福祉課	<p>質問・意見への回答</p> <p>①緊急連絡先の記載をお願いしている高齢者在宅福祉サービスは、愛の一声事業（ヤクルト配布による見守り）、見守り支援事業（訪問員による安否確認）、あんしん電話事業（家庭用緊急通報機器設置）、いきいきデイサービス事業の4つがありますが、どの事業も基本的には親族名を記載していただきます。ただし、愛の一声事業については、安否が確認できない場合に直ぐに本人の様子を見てもらえる市内在住の方にしていただいているため、市内に親族がいない方には民生委員や友人等に対応していただく場合があります。また、あんしん電話事業についても、誰も親族がいない場合は民生委員や隣人等に対応していただくこととなります。</p> <p>②民生委員や地域の方等からの相談や情報提供により支援が必要な高齢者の方を把握した場合においては、電話や郵送で</p>

		連絡を取り対応しておりますが、それが難しい場合は情報提供いただいた方に各種サービス申請手続き等の支援をお願いしたり、地域包括支援センターと連携を図りながら自宅への訪問を行う等の対応をしております。
番号	該当箇所	質問・意見内容
8	施策：3-3	市民が死亡した際の米沢市の体制について伺います。これまで20名程の高齢者の成年後見人を引き受け、8名が死亡し、その内3名の葬式・埋葬までを行いました。本来であれば、死亡するまでが後見人の仕事であり、死亡した後は家族、家族の無い人であれば、市町村長に法律上義務があるものの、米沢市では、こちらに任されてしまいます。他の市町村では、市町村長が成年後見人申立てを行っており、火葬場まで連れていけば、後は職員でやってもらえるところもあります。その辺りの体制について教えていただきたいのと同時に、今後、独居老人が増える中で、皆が安心して死んでいけるような体制づくりについて、どのように考えているかを教えて欲しいです。また、安心して死ぬことができる体制づくりを検討してください。
	成年後見・死亡時の対応	
	担当課： 高齢福祉課	質問・意見への回答
		<p>これまで、成年後見終了後の事務については、従前から応急処分の規定が存在したものの、これにより成年後見人が行うことができる事務の範囲が明確でなかったこともあり、本来の職務を越えた範囲の事務をお願いする結果となる事案もありました。</p> <p>平成28年に法律の一部改正があり、成年後見人が行うことができる事務の範囲が広がっていることから、今後もケースに応じて成年後見人と十分な協議のうえ役割分担を行い、身寄りのない方の死後事務に対応してまいります。</p> <p>また、第3章施策3-3施策での取組3-3-2において、下線部分を追加しました。</p> <p>「〇一人暮らし高齢者等が安心して暮らせるように、地域全体で見守り、気づき、支えあうための仕組みづくりを推進します。」</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
9	施策：3-3	高齢者に関する記述の中で、認知症に関する施策がないように感じるので、入れて欲しいです。また、高齢者へのケアをしている人達への支援が不十分でないかと思えます。介護をしている人達が集まれる場、相談できる機会等があればいいのではないかと思えます。
	認知症対策・介護者へのケア	

	担当課： 高齢福祉課	質問・意見への回答 認知症に関しては、早期診断・早期対応に向けた専門職による支援チーム設置のほか、認知症についての正しい知識と支援体制づくりのためのサポーター養成講座等を開催しております。また、介護者支援として、認知症カフェや介護者交流会の開催等による心身の負担軽減等の支援をしております。 これらは、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、必要な医療、介護及び生活支援等が有機的に連携した支援体制の構築を目的として、今後も継続してまいります ご意見を踏まえ、第3章・施策3-3・施策での取組 3-3-2において、下線部分を追加しました。 <u>○認知症になっても安心して暮らしていけるよう、医療、介護及び生活支援等の連携した効果的な支援体制を構築します。</u>
番号	該当箇所	質問・意見内容
10	施策：3-4 障がい者支援	施策3-4 市民・地域・事業者等に期待する役割の内、「(市民)障がいのある人への理解を深めましょう」という表現をもっと行動につながるような表現「障がいをお持ちの方が困っていれば、お手伝いしましょう」等へ改められないでしょうか。
	担当課： 社会福祉課	質問・意見への回答 「(市民)障がいのある人への理解を深めましょう」の意図するところは、障がい及び障がいのある人への偏見をなくすことや、障がいのない人と同じように個人を尊重することも含まれます。具体的には、障がいのある人が困っているときに手伝うことだけでなく、障がいについて学んだり、障がいのある人と触れ合ったりすることもあげられます。 なお、障がいのある人からは「すぐに手をかけてもらうよりも、まずは『何かお手伝いしましょうか』と一声かけていただくとありがたい」との意見があります。 ご意見を踏まえ、市民の役割を下線のように修正いたします。 <u>「障がいについて学んだり、障がいのある人といっしょに活動したりして理解を深めるとともに、障がいのある人が困っている時には声をかけましょう。」</u>
番号	該当箇所	質問・意見内容
11	施策：3-4 児童発達支援センター	児童発達支援センターの設置について、「児童」という名称がついていますが、何歳までの方が利用できることを想定しているのでしょうか。確かに発達的な課題を抱えている子どもの割

		合は多くなっていると感じますが、先天的な障がいだけでなく、育つ環境に起因、影響を受けるものも多く、大人になってから障がいの認定を受ける方も少なくないと感じています。学校段階での躰きだけではなく、働く中で生きにくさを抱えた方の窓口としてのニーズもあると考えられますが、縦割りでない形での計画には出来ないでしょうか。
	担当課： 社会福祉課	質問・意見への回答 「児童発達支援センター」は児童福祉法に規定されているもので、対象年齢は18歳以下となり、特例で在学中は卒業まで対象とできるとなっております。大人の発達障がいに関する相談は、児童発達支援センターではなく、社会福祉課障がい者支援室で応じております。ご意見いただきました大人の発達障がいについては、発達障がいも含めた様々な障がいについて、施策3-4に記載し、対応して参りますのでご理解下さいますようお願いいたします。
番号	該当箇所	質問・意見内容
12	施策：3-4 障がい者スポーツ指導員	パラリンピックの開催を機に、障がい者スポーツに対する見方考え方がだいぶ変わってきています。米沢市にも様々なパラスポーツに関わる人がいますが、ほんの一部の方が中心になって動いているのが現状です。障がい者とのスポーツ、レクリエーション活動を広めていくためにも、障がい者スポーツ指導員を増やし、積極的に支援体勢の充実のために動くことが必要かと思い、米沢市のスポーツ指導委員会としても、研修会参加を呼びかけています。支援する人材を確保、増員していくことも大切かと思えます。
	担当課： スポーツ課	質問・意見への回答 本市において障がい者スポーツの支援や普及等について、ニーズの把握をしながら検討していく必要性を感じていますが、不十分であると捉えています。 このため、東京2020パラリンピック競技大会を機に、障がい者スポーツ指導員の受講に関する呼びかけや支援等について研究していくほか、現存のスポーツイベント等における障がい者が参加しやすい雰囲気づくりや受入態勢の構築、呼びかけ等の施策を検討していきたいと考えています。 ご意見を踏まえ、施策での取組3-4-1の○2つ目に下線部分を追加し、担当課としてスポーツ課を追加いたします。 ○障がい者における社会参加支援では、文化、スポーツ、レク

		リエーション活動等への参加を促し、生きがいある生活を送ることができるよう支援体制の充実及び人材の育成を図ります。
番号	該当箇所	質問・意見内容
13	施策：3-5-1 福祉教育	二つ目の○印に記載されているように、社会福祉協議会でも小さいころから福祉に対する理解を高めるため、福祉体験学習を行っています。出来る限り多くの学校に取り組んでもらい、小さいうちから福祉の心の醸成を図っていくためにも、社会教育課も何らかの形で担当していただくと有難いと思います。 理由) 福祉教育の関心度が学校や担当教諭によってまちまちであるため。
	担当課： 社会教育課	質問・意見への回答 福祉の心の醸成について、市教育委員会では、家庭教育や青少年育成事業の推進を図る中で様々な団体と連携しながら取り組んでおります。また、「第3期米沢市地域福祉計画」においても「小さな頃からの福祉教育・福祉体験学習の充実を図る」担当課の一つとして位置付けられており、今後も福祉教育、福祉の心の醸成を図る事業展開を進めてまいります。 ご意見を踏まえ、施策での取組 3-5-1「地域福祉活動の担い手のなる人材や団体の育成」の担当課に、社会教育課を追加させていただきます。
	担当課： 学校教育課	質問・意見への回答 各小中学校では、福祉の心を児童生徒の実態に合わせて、「幼児」「高齢者」「障害者」等との様々な交流を通して、主に総合的な学習の時間や道徳、特別活動等の時間を中心に育成しています。その際に大切にしていることは、身近な人々から地域の人々へ、教師の指導性重視から子どもの主体性重視へ、ふれあい体験重視からそれを踏まえた福祉の理解へといった視点で学習することです。このような視点は、福祉を「自分事」として捉える機会となるとともに、関心を高めることにつながっています。児童生徒だけでなく、指導者である教員も福祉教育に対する関心を高め、理解を深める機会となることから福祉教育の充実に努めてまいります。 ご意見を踏まえ、施策での取組 3-5-1 2つ目の○に下線部分を追加し、担当課として学校教育課を記載します。 ○福祉に関する学習会や講習会をの開催や、 <u>学校における教育活動の中で、福祉に対する理解や支え合いの意識を醸成しま</u>

		す。
番号	該当箇所	質問・意見内容
14	施策：3-5-3	二つ目の○印記載
	地域福祉活動	障がいを抱え在宅で生活されている方が、日頃から近隣とのつながりが無いためいざという時不安を抱えておられます。その点の状況をしっかりと掴んで、いかに地域での見守り活動を進めていくか早急に検討していただきたいと思ひます。
	担当課： 社会福祉課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>少子高齢化を伴う人口減少をはじめ、様々な社会的要因によって地域住民同士による「お互い様」の意識が希薄になっており、地域での見守り活動を推進していくためには、個人の福祉意識醸成と地域にある多様な資源を結びつけていく必要があると考へます。今後も、社会福祉協議会と引き続き連携して「地域で支え合うまちづくり」を推進していきます。なお、本市では、地域での孤立を防ぐため、身近な相談相手である民生委員・児童委員のほかに、障がいのある人の身近な支援者として11人の身体障害者相談員と4人の知的障害者相談員を配置しています。また、障がい者相談支援事業所に所属している相談支援専門員が様々な相談に対応してあります。</p>

4. その他の章についての質問

審議会委員から、審議会中及び審議会後に書面で提出された質問・意見への回答

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	学校教育について	<p>教員をしていて感じることは、期待される人材ほど米沢に残っていません。聞けば、自分が学んだ事を生かす仕事が米沢にはなかなか見つけられなかったり、求人が無かったりと厳しいようです。スポーツ選手も県外へ流出したら戻って来ることは極めて少なく、米沢で力をつけても、地元で実力を発揮することはなかなか難しいようです。多くの時間と強化費を費やしたのに残念な気持ちになります。小さい頃から、大人の自分が米沢で生活しているイメージを膨らませるように、米沢の良さを身体に染みこませ、郷土愛を育てていくことは大事だと思ひます。小・中・高と学校で生活を共にした友達との学校生活の思い出や人と人との関わりは将来の生活を選択する時に大きく関わってくると思ひます。十分な施設設備は少ないですが米沢にいつまでも住みたいと思ふような魅力を伝える学校づくりは大</p>

		切です。
	担当課： 学校教育課	質問・意見への回答
		<p>子どもたちが、歴史と文化のまちである米沢で育ち、教育を受けたことに対して誇りと郷土愛を持てるような学校教育は、「教育の米沢品質」につながるものであり、SDGsの観点からも非常に重要であると考えております。米沢の学校教育を受けた子どもたちが、将来の夢や目標を「米沢」で叶えたいと思ったときに、その思いに応えることができるよう、受け皿や環境整備を進めていくことが大切であると考えております。いつまでも住みたいと思うような魅力ある米沢となるよう、郷土愛を育む学校教育の充実を今後も図っていきます。なお具体的には、施策 2-2-1 で取り組みます。</p>